

昭和大学附属烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕 病 院 長 岩波 明
〔編集責任者〕 広報委員長 常岡 俊昭
〔住所〕 〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11
〔電話〕 03-3300-5231(代表)

第 1 9 0 号

[2 0 2 3 年 6 月 3 0 日 発]

令和 5 年度 烏山病院ワークショップ

I. 昭和大学臨床薬理研究所内医学部循環器内科教授

附属烏山病院内科学部門診療科長 阿久津靖

烏山病院における外来収入増加策について 2023 年 5 月 13 日ワークショップが行われ、メンバーとして討論する機会を得ました。烏山病院は、1926 年精神科病院として開設され 1951 年より昭和大学附属病院となり、特徴ある精神科単科の附属病院として現在に至っております。厳しい医療環境の中、日本の激増する精神疾患患者さんに対応すべく、市中民間病院と一線を画し、大学精神病院として臨床・研究・専門医師教育を実践しております。大学病院として最先端の精神医療を発展させるため、当院の拡充した検査設備の有効活用が重要と考えております。精神疾患は、生活習慣病に合併しやすく、重篤になりやすい特徴を持ち、精神症状を改善する薬物治療薬の強い効果の一方で、身体に影響を与えることも多く、出現する合併身体疾患を早期に発見・診断することにより、治療により重篤な病状を予防することが必要であり、採尿尿検体測定・心電図・レントゲン・超音波エコー検査・胃カメラ・3 元的測定可能なヘリカル CT・ハイエンド 3 テスラ MRI 設備を病院内に持つことによる即座の診断を可能にしており、他の昭和大学附属病院とのすべての身体診療科との on-line 連携から、精度の高い医療の提供を実践する大学病院の責任を果たすことが結果的な外来収入増加策につながると考えており、今後も内科学診療科の立場から実践していく所存です。



II. A3 病棟 看護師 塚越拓美

令和 5 年 5 月 13 日 烏山病院ワークショップが開催されました。病棟責任者からお声をかけて頂き、初めてのワークショップに参加させて頂きました。テーマは外来収入増加策と院内情報共有についてでした。事前に資料が配布され、アンケートを提出し内容を共有しました。その時点で多職種が参加していることもあり、各職種や役割からさまざまな意見が出ているのが印象的でした。当日は、岩波院長、三邊烏山病院担当理事から開会のご挨拶を頂きワークショップが始まりました。

「外来による収入増加について」は2グループ、院内情報共有については1グループに分かれて討議を行います。私は「外来による収入増加について」について討議をしました。各班にはディレクター・ファシリテーターがついてくださいます。

私が参加した班では前半は資料を元に問題点を明確にし、後半では改善点や新しいアイデアなどを出し合っていました。



最後に、各班からの発表があり、院内情報共有の課題と改善点も共有することができました。

医師、精神保健福祉士、作業療法士、検査技師、薬局、事務課、歯科、臨床薬理研究所、発達障害医療研究所、栄養科、心理療法室、看護師と普段なかなか顔を合わすことが少ない多職種が一つの場所に集まりとても新鮮な環境でした。

私は病棟看護師なので、普段意識することが少ない外来での収入について考える機会を頂き、日々の業務でもその視点を持つことが必要だと気づきました。また機会があったら参加したいと思います。

Ⅲ. 昭和大学精神医学講座 助教 新村一樹

鳥山病院の診療体制をより良くするためにワークショップが開催された。主な議題は外来診療に関することと、院内情報共有についてであった。

外来診療に関しては、患者目線からの外来診療への意見と、経営面からの意見に大分された。前者に関して例を挙げると、「大学病院」という肩書があるがゆえの心理的な敷居の高さが議題となり、紹介状無しでの受診が可能である旨や、有料相談を受け付けている旨がHPにわかりやすく記載された方が望ましいであろうとの意見があった。一方で、「大学病院」ならではの利点として、他附属病院との連携などのフォロー体制があることを明確にして、かかりつけていく上での安心感につなげていく事も重要なのではないかとという意見もあり、多軸的な討論が行われた。

また、経営面においてだが、大学病院は非営利団体ではないので、収支も合わせないと成立しない。収支を合わせた上で、さらなる設備投資に結び付き、結果として医療に還元していくために、実施した医療のコスト漏れへの認識を含めた活発な討論が行われた。

最後に院内情報共有であるが、ここのセッションは私が参加した。事務連絡系統と、医療現場関連に大分された。事務系、委員会系の情報共有に関しては、Slack、Google、lineの利用で、ペーパーレス化できるのではないかと議論された。医療現場では、緊急の指示を出した側と受け手側の情報共有の不一致が、一番の問題と認識されたが、鳥山病院のシステム上、どうしても最後は「人力」となってしまう。「指示を出す側が、面倒くさがらずにPHSをワンプッシュする、中止処方箋を手渡すなどの手間を省かなければ良いだけなのだ。」と偉そうに自分で総括して、自分の首を絞めてしまった。

ワークショップ後には、ご参加して下さった理事長並びに理事の先生方と意見交換会も行われ、くだけた話題で談笑することもでき、心理的な距離が狭まった感じがして、有意義な会であった。

季節の献立紹介

栄養科



6月中旬となり、梅雨入りとなりました。蒸し暑く、湿気も多く、ぐずついたお天気が続いています。外出するにも憂鬱な気分になりがちですが、そんな中でも紫陽花の色とりどりに咲き誇る凛とした様をみると、すがすがしさを感じます。紫陽花は、「冷淡・無情・移り気」とネガティブな花言葉がある一方、小さい花がたくさん集まって咲いていることから「和気あいあい・団らん」とポジティブな花言葉もあります。6月11日の昼食時に、そんな紫陽花をモチーフにしたデザート（ババロアの上にぶどうゼリーを砕いた物をのせて2層に）給食致しました。

外来 OT のご案内

作業療法室

この度、外来 OT のプログラムが増設されたので、この場を借りて宣伝をさせていただきます。

○落ち込みやすい方のためのメタ認知トレーニング&マインドフルネス（月 13:30～入院棟 2 階セミナー室）

些細なことで落ち込み、ずっと気にしてしまう。一度落ち込むと立ち直るのに時間がかかる。白黒思考で考えることで、疲れてしまう。自分のミスが怖く、いつも不安で緊張している。

上記のことにお困りの方にお勧めです。

○BeauTy OT-step2-(金 9:30～OT 室)

運動とメタ認知トレーニングを通して、健康面に気遣うこと、物事の捉え方について学んでいくプログラムです。

身体を動かしたい方、自己理解（物事のとらえ方）を深めたい方、学ぶことが好きな方にお勧めです。

○若年層プログラム（火 9:30～入院棟 2 階セミナー室）

主に 10 代～20 代向けのプログラムです。当プログラムは、同年代の集団の中で楽しめること・楽しむ中で自分らしさを見つけて発揮できること・社会参加に自信がつくことなどを目的としたプログラムです。内容としては、ゲームを用いた談話・軽スポーツ・マインドフルネス・ボードゲームなどを予定しています。

○生きづらさを分かち合う会（仮）（火 13:00～入院棟 2 階セミナー室）

全疾患対象のプログラムです。当プログラムは、生きづらさを感じている人に対して、講義（クライシスプラン・SST など）やミーティング（言いつばなし・聞きつばなし）を通して、今後の生活を送るためのヒントを得ることが目的となっています。

ご興味のある方は、外来主治医に相談の上、作業療法室までご連絡ください。

今回は水曜午後の生活講座のプログラムを紹介します。生活講座は、衣食住などを学ぶプログラムで、特徴として、知識をつけるだけでなく、実践して練習してみるということをしています。過去には、洗濯の知識、清掃の知識などを学びましたが、その際は皆でデイケアの洗濯機で洗濯して干す体験をしたり、冷蔵庫の清掃、排水溝の清掃などを実践しました。そんな生活講座の中で参加者の皆が最も楽しみにしているのが、月1回開催される調理実習です。皆で作りたいものを話し合っ決めて、今月はおにぎりを作ることになりました。まず昼休みに集まりお米とぎを順番に体験しました。初めてお米とぎをしたという人もいました。そして、午後のプログラムで炊けたごはんでおにぎりを作りました。具材は梅と海苔の佃煮でした。具材が外に溢れてきてしまいおにぎりが難しかったです。さんかくの形にもできなくて、まるい塊になってしまいました。でも自分たちでといたお米のおにぎりを食べられて嬉しかったです。生活講座で練習したことを家でも活かせるようになりたいです。



総合サポートセンター ～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～金曜日・8時30分～17時
 土曜日 8時30分～13時
 電話：月曜日～金曜日 03-3300-5329
 土曜日 03-3300-5231
 ◎初診受付：月曜日～金曜日・8時30分～14時
 土曜日 8時30分～12時
 ◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

《5月》	入院(前月)	外来(前月)
◆延患者数	8.852(8,387)	6.168(6,141)
◇一日平均患者数	285.5(279.6)	257.0(255.9)
◆診療実日数	31(30)	24(24)

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp となります。

こちら当院のホームページのQRコードとなります。ぜひご覧ください。

あおぞらについてのアンケートを作成しましたのでご協力の程よろしくお願いたします。



【編集後記】

今年は、春先から初夏にかけて、寒暖の差が大きかった気がします。皆様の体調はいかがですか？今年ももう6月。年の半分は終わってしまうと思うと、あっという間です。

そろそろ、紫陽花が満開になり、夏がやってきます。暑さに負けず、冷たいそうめんや、かき氷、運動など、季節の変化に対応していきたいです。

(作業療法士 熊谷)

